

10月22日(日)

主催:八雲住区住民会議 施設運営部会

AED講習に参加して

施設運営部会:土橋 裕



10月22日(日)八雲住区センターにて開催された「AED講習会」に参加しました。計15名が参加した2時間程の講習会でしたが、解り易く、ためになる講習会でした。単にAEDの使い方に留まらず、心停止に関わる「応急手当」全般に渡る内容でしたし、喉に何か詰まった時の対応や止血方法についても教えて頂きました。今後そうした場面に自分自身が遭遇した時、傍観者でなく必要な行動の第1歩を踏み出せる人になれる様、努めたいと思います。最後にありますが、今回ご指導賜りました消防団の皆様にご心より御礼申し上げます

1月11日(日)

初詣 帝釈天

主催:八雲住区住民会議 生活環境部会

- ◆ 日時 令和6年1月11日(木)
- ◆ 集合 午前9時厳守 自由通り 八雲高校前バス停
- ◆ 交通費・昼食代・保険料100円は自己負担
- ◆ 持ち物 常備薬、保険証、飲料水、傘または帽子等 歩きやすい靴と服装でおいでください。雨天中止(小雨決行)、昼食は解散後自由です。
- ◆ 申し込み方法お問い合わせ 八雲住区センターへお申し込みください。電話03-3718-0851(1月6日締め切り)

1月21日(日)

新年お楽しみ会

主催:八雲住区住民会議 青少年育成部会

餅つきにコマ回しなどの正月遊びを通じて、子どもたちと大人で新年・正月の雰囲気味わっていただければと次のとおり「新年お楽しみ会」を開催します。(事前申込不要です。)



前回の様子

搗いたお餅はお持ち帰りいただけます。(数に限りがあります。先着順です。)

- ◆ 開催日時 令和6年1月21日(日) *小雨決行 午前10時 受付開始 午後0時30分 終了予定
- ◆ 会場 八雲小学校校庭
- ◆ 協力 八雲小学校、八雲児童館、ボーイスカウト目黒第8団、八雲小学校保護者、八雲住区住民会議(生活環境部会施設運営部会、広報部会)

* 搗き手を募集しています。詳しくは住区ホームページをご覧ください。

2月4日(日)

主催 西部地区スポーツ大会実行委員会

西部地区スポーツ大会

住区対抗 ポツキョ大会

全員参加 O×クイズもあるよ☆

- ◆ 日時 令和6年2月4日(日) 午前9時45分(受付開始)～午後0時30分
- ◆ 場所 八雲体育館
- ◆ 対象 小学生以上、各住区先着15名
- ◆ 申込 八雲住区センターまで 1月19日(金)締切
- ◆ 持ち物 飲み物、上履き(底が黒以外のもの)
- ◆ 費用 無料、参加賞もあります

八雲住区センター運営員募集

八雲住区住民会議にご理解のある方を求めます

- 募集人員 運営員 3名程度(八雲住区内及び近隣に在住の方)
 - 応募期間 令和6年1月5日(金)～1月22日(月)
 - 受付場所 八雲住区センター事務室 受付窓口
 - 受付時間 午前9時～午後8時(但し、月曜日は午後5時まで) ※1月8日(月)は休館日です
 - 応募方法 八雲住区センター運営員申込書(履歴書)に必要事項を記入し、提出してください 申込書は受付でお渡しします
 - 面接 令和6年1月29日(月)午前中予定、面接時間は追ってご連絡します
 - 採用通知 2月中旬までに文書で通知いたします
 - 八雲住区住民会議等が主催する行事に参加してもらう場合があります
- 【問合せ先】 八雲住区センター 電話 03-3718-0851

【勤務条件・勤務内容】※詳細は窓口にある「募集要項」をご覧ください

本誌掲載の行事は住区、町会の掲示板、ポスター、ホームページなどで案内しています。

やくも住区だより No.170 令和5年12月発行

発行=八雲住区住民会議広報部会 林 隆志

八雲住区住民会議ホームページ(右QRコード) <https://yakumo19.net>



やくも 住区だより No. 170



記念パレードへの参加と寄付金のお願い ~八雲住区の取り組み~

八雲小周年記念事業推進会議 委員長 北澤尚文

10月28日(土)、八雲小開校150周年記念パレードが盛大に行われました。パレードには各学級の15基の「子どもみこし」と八雲住区が作成した「地域みこし」が参加しました。このパレードでは目黒通りを通行するため、住区と学校が2年前から碑文谷警察署に道路の使用許可や警備をお願いして実現したものです。

一方、当日の「地域みこし」は八雲の校名の由来をモチーフとした「炎の八雲神話号」と名付け、住区組織の周年記念事業推進会議で検討しパレード前日によく完成しました。また、パレード当日は子どもたちの安全確保のため、順路に沿って21人の住区メンバーを配置、交通整理に当たりました。更に沿道の皆さんに「通行止めのお知らせ」のチラシ、約1500枚を配布し当日の協力をお願いしました。

今後の八雲住区の取組は、記念事業の原資となる寄付金の確保に向け、最後のお願いに全力を傾けていきます。寄付の期限は1月末までです。是非ご協力をお願いします。

また開校150周年記念事業実行委員会が主催する1月13日(土)午後パーシモンホールで開催される「記念コンサート」、「記念祝賀会」の受付、案内などもサポートし、周年記念事業を学校・PTAと一緒に盛り上げていきます。



目黒通りを進むパレード

10月28日

地域みこし「炎の八雲神話号」

八雲小周年記念事業推進会議 地域みこし制作ディレクター 鍋谷 雄一

10月28日(土)、汗ばむような好天の下、八雲小学校150周年記念事業として小学校の各クラスの児童による手作りみこしによるパレードが行われました。

八雲住区住民会議では力を合わせ、地域みこしとして「炎の八雲神話号」を作成し、記念事業を盛り上げました。

ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、ここで八雲という町名の由来について少しお話をします。



住区住民会議メンバーもパレードをサポート

日本の神話にて、スサノオはクシナダ姫を食べようとしていた大蛇を退治しました。その後二人は結婚し、新居を立てることになりました。新居の建設中、空に盛んに雲が沸き立つのを見たスサノオは和歌を作りました。

「八雲立つ 出雲八重垣 妻ごみに 八重垣作る その八重垣を」

(盛んに沸き立つ雲(八雲)は新居の周りにたくさん(八重)の垣根を作っているようだ。妻のクシナダ姫を守るため、八重の垣根を作ろう。その素晴らしい八雲のように。)



掛け声を合わせて

今回、地域みこしを制作するに際し、八雲の美しい名前の由来と、住民会議が子供たちを守る八重の垣根の一つであるという想いを込めスサノオとヤマタノオロチをモチーフとしました。私たちが住む八雲では八重の垣根のように子供たちが守られ、生き生きと成長しています。

住民会議は様々なイベントを通じて子供たちの成長を見守り、地域のコミュニティが育成することを願っています。最後に地域みこしについては、3月まで八雲住区センターのロビーで展示されていますので、ぜひご覧ください。